			T
トピック(テーマ)			もう一つの五稜郭・龍岡城
ねらい			函館の五稜郭はよく知られていますが、長野県佐久市にもう一つの五 稜郭と呼ばれる龍岡城があります。この城は誰が、どのようにして建て たか調べる。
キーワード			五稜郭、奥殿藩、田野口藩、龍岡藩、松平乗謨(のりかた)、大給恒(おぎゅう・ゆずる)、陸軍総裁、博愛社、日本赤十字社、稜堡式築城法
概要を知るためのツール	1	書名	佐久市の文化財
		著者名	長野県佐久市文化財保護審議会/編
		出版社	佐久市教育委員会
		出版年	2010.1.20
		内容紹介	「龍岡城跡」が昭和9年に「国史跡」に指定されたことをはじめ、龍岡城が藩主松平乗謨によって幕末元治元年(1864)に着工され築かれたことが、コンパクトにまとめられている。
	2	書名	佐久の先人
		著者名	佐久市佐久の先人検討委員会/編
		発行者	佐久市
		出版年	2014.1.20
		内容紹介	松平乗謨(大給恒)が、もう一つの五稜郭(龍岡城)を築いたことと、明治時代に博愛社(後の日本赤十字社)を創設したことを中心に述べられている。
	3	書名	近代佐久を開いた人たち
		著者名	中村勝実/著
		出版社	櫟
		出版年	1994.2.20
		内容紹介	「山国に築いた五稜郭ー大給恒」に、佐久地方に近代化をもたらした人々の一人として大給恒を取り上げ、五稜郭(龍岡城)を築いたこと、明治になって勲章制度を作ったことなどが述べられている。
資料リスト	1	書名	臼田町誌 第四巻 近世編
		著者名	臼田町誌編纂委員会/編
		出版社	佐久市臼田町誌刊行会
		出版年	2008.3.20
		内容紹介	第二章第五節三「五稜郭と幕末動乱」に、三河奥殿藩が本拠地を信州 田野口へ移転するにあたり作られた陣屋が、龍岡にあったことから田野 口藩が後に龍岡藩となり、龍岡城と呼ばれるようになったことが記され ている。 第六巻 文化財・史料・年表編の文化財編四史跡・天然記念物に龍岡 城跡の項あり。
	2	書名	松平乗謨と五稜郭(千曲文庫田野口藩陣屋日記拾い話)
		著者名	市川武治/著
		出版社	櫟
		出版年	1982.8.1
		内容紹介	「田野口藩陣屋日記」を基に、新陣屋五稜郭が築城される経過をくわしく 述べている。
	3	書名	もう一つの五稜郭
		著者名	中村勝実/著
		出版社	櫟
		出版年	1982.5.16
	•		<u> </u>

1			信州佐久にもう一つの五稜郭があるとして、信州龍岡城の築城からそ
		内容紹介	
		1 3 1 1 1 1 1 1	の。
	4	書名	龍岡城跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ:佐久市埋蔵文化財調査報告書 第216集
		著者名	佐久市教育委員会/編 森泉かよ子/編著
		出版社	佐久市教育委員会
		出版年	2014.3
		内容紹介	長野県佐久市田口 西洋式城郭の石垣修理等に伴う発掘調査の報告。 年表あり。
	5	書名	龍岡城跡 V:佐久市埋蔵文化財調査報告書 第248集
		著者名	佐久市教育委員会/編森泉かよ子/編著
		出版社	佐久市教育委員会
		出版年	2018.8
		内容紹介	長野県佐久市田口 西洋式城郭の石垣修理工事等に伴う発掘調査の 報告。
	6	書名	大給恒と赤十字 (銀河グラフィック選書)
		著者名	北野進/著
		出版社	銀河書房
		出版年	1991.1.27
			大給恒と赤十字の関係を詳述した本だが、1-3「五稜郭・龍岡城」で龍
±#=1		内容紹介	岡城についても述べられており、写真が多数掲載されている。
雑誌	1	論題名	五稜郭(龍岡城)と大給恒
		著者名	水野茂/著
		雑誌名	信濃教育
		出版年	1976.5
		巻号頁数	No.252 49-55
	2	論題名	竜岡五稜郭の建設-洋式軍事技術受容の一形態
		著者名	樋口 政則
		雑誌名	國學院雜誌
		出版年	1981.7
		巻号頁数	82(7) 28–40
	3	論題名	洋式軍事技術受容の一形態-竜岡五稜郭建設地選定をめぐって
		著者名	樋口 政則
		雑誌名	國學院雜誌
		出版年	1978.8
		巻号頁数	79(8) 19–33
インターネット	1	サイト名	龍岡城跡Ⅰ・Ⅲ・Ⅲ・Ⅳ-全国遺跡報告総覧
		URL	https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/681
		概要	奈良文化財研究所内サイト全国遺跡報告総覧から資料4をダウンロー ドしてみることができる。
	2	サイト名	長野県内図書館横断検索サービス「信州ブックサーチ」
		URL	https://www.library.pref.nagano.jp/licsxp-opac/shinshubooksearch.html
		概要	龍岡城·五稜郭·大給恒に関する資料の県内図書館の所蔵状況を調べることができる。
	3	サイト名	国立国会図書館サーチ
		URL	http://iss.ndl.go.jp/
1	l		<del></del>

		概要	龍岡城・五稜郭・大給恒に関する書籍・雑誌記事・論文などを検索でき、中には最寄の公共図書館でデジタルデータを見ることのできるものもある。
	4	サイト名	長野県市町村史誌等目次情報データベース
		URL	http://misuzu-mokuji.net/
		概要	龍岡城・五稜郭・大給恒に関する項目が市町村史誌等に載っているかを調べることができる。
新聞	1	見出し	五稜郭・龍岡城 案内板化粧直し
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊24ページ
		年月日	1990.1.20
	2	見出し	五稜郭サミット 世界各地の都市に呼び掛け
		発行機関	信濃毎日新聞 夕刊1ページ
		年月日	1996.2.5
	3	見出し	五稜郭130周年PR作戦 町 記念事業
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊36ページ
		年月日	1997.1.1
コメント			雑誌1の「五稜郭(龍岡城)と大給恒」は、国立国会図書館デジタルコレクションで見ることができる。(閲覧は公共図書館で) 近隣の図書館にない資料でも取り寄せて閲覧できるものもありますので、最寄りの図書館に問い合わせてみましょう。